



新春に

思い思いの喜び

女の子のお正月の遊びである羽根つきを、手づくりの羽子板で楽しんでもらおうと、12月23日、町歴史民俗資料館で『羽子板づくり教室』が開かれ、親子づれなど30名が、1枚の板から切抜き、下絵、採色、仕上げの順により、雪だるまなどを描いた見事な作品をつくりあげました。

最近、飾り物や縁起物が増えましたが、この日はさっそく、青空の下で羽根つきを楽しみました。

さて、平成3年は^{ウレ}未年です。今年の目標を決め、“迷える羊”にならないようお互いにスタートを切りたいものです。

年頭のごあいさつ

二十一世紀へ向けた町づくり

壬生町長

清水 英世



輝かしい平成三年の新春を迎え、年頭のごあいさつを申し上げます。

私は、昨年町長選挙におきまして当選の榮に浴し、四月から町政を担当することができました。これひとえに町民の皆様のご支援の賜と心より御礼申し上げます。ご次第でございます。

まず、町政担当一年目であります平成二年度の行政推進状況を申し上げます。

都市施設の整備では、住みよ

い住環境づくりとして、壬生北部土地区画整理事業や児童公園の整備推進を図っています。

また、懸案であった公園墓地につきましても、平成三年四月には第一期造成区域を町民の方に使用できるように努めております。

町道の整備におきましては、生活道路を中心として着実に推進しています。

生活環境整備では、公共下水道の区域拡大と国谷駅周辺地域の下水道事業を推進するとともに、安塚地区雨水幹線の整備推進を図っています。

教育の面では、壬生小学校第二体育館及びプール整備、安塚小学校用地取得に努めております。また、教育内容の充実と、

次代を担う中学生の学習意欲の喚起と、国際化する社会に対応

した人づくりを図るため、英語指導助手二名を招致し活動いただいています。

社会福祉におきましては、高齢化社会に向けシルバー人材センターの充実と生きがい対策のため諸事業を推進し福祉の向上に努めています。

農業をとりまく環境は厳しい状況下にあります。基幹排水対策、圃場整備、農道事業等の条件整備と首都圏圏芸確立の諸事業を推進しています。

また、商工観光の諸事業を推進し、中小企業の振興と地域の活性化に努めております。

平成二年九月十九日、安塚地区を中心に襲った、たつみ災害では、三百余世帯の方々が大きな被害を受けました。町としてまただちに災害対策本部を設置し、県並びに関係機関などか

ら御支援をいただき被害者の救助、復興に努めてまいりました。

災害に際し皆様より数々のご激励やお見舞など、物心両面にわたる温かいご支援を賜り心から感謝申し上げますとともに、被災されました方々の一日も早い復旧を願っております。

また、平成二年は後期（五年間）の町振興計画の策定年であり、私は町行政の計画的推進をはかるため諸事業をきめ細かに計画し町民の福祉向上に努めることといたしました。

次に、平成三年度では、町振興計画に計上いたしましたそれぞれの事業を進めるとともに、

北関東自動車道が計画され、さまざまな開発が進む本町は県内で最も発展の可能性を秘めた町であります。それだけに、今の時期に二十一世紀へ向けた町づくりをきちんとデザインしなければ、雑然とした町にもなりかねません。

そこで専門家をまじえた検討委員会などを設置し、将来のあるべき姿を方向づけたいと考えております。

私は常々、「緑と太陽と空間を生かした町づくり」を考えて

きました。それが実現するにはまず生活環境の改善が必要です。北関東自動車道によって町が分断されないよう道路網を整備することはもちろん、町民から要望の多い上下水道の拡大整備、ごみ処理対策として、資源の再利用の観点からリサイクル運動の展開と環境センター（最終処分場）の建設を急がなければなりません。

ふるさと創生事業として取り組む「おもちゃ博物館」につきましては、聖地公園や運動公園を含め一体化した潤いのある総合公園にしたいという構想をもっています。

一方、ソフト面では新年度、町民の海外派遣事業を始める予定です。この事業によって、町民の方々の国際的視野が広がり、連帯感が強くなればと思っております。

町は今、大きな転換期を迎えようとしており、私も町民のみなさんの意向を大切にしながら明るい町づくりを進めてまいりますので、町議会をはじめ町民の皆様温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

住民福祉の向上をめざして

壬生町議会

議長 稲葉 次雄



平成三年の年頭にあたり、町議会を代表いたしまして謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様と共に輝かしい新年を迎えることが出来まますことは、誠にご同慶にたえない次第であります。

町民の皆様には、平素から町政推進に格別なご尽力を頂き、

衷心から感謝申し上げます。

二十一世紀を間近にひかえ、国際化、情報化、高齢化、住民の価値観の多様化などにより政治・経済社会が大きく変貌しつつある今日、地方行政は住民ニーズを的確に把握し、増大化・多様化する行政需要に対応することが要請されています。とり

わけ、地域の特色を活かし、住民生活の質の向上を実現することが課題となっております。そのため社会資本の整備等を推進することが期待されております。

このような情勢の中にあつて本町では、恵まれた自然と文化を生かし、健康で文化的な生活の確保と豊かで魅力あるまちづくりを目標に、総合振興計画を基調として効率的な行政執行に努力がなされているところであります。

議会といたしましては、このような社会の変化を的確に把握し、より良い町づくりを目指し地域の日常生活と住民福祉の向上に一層の努力をしてまいります。

今後とも、町民の皆様への限りないご支援・ご協力をお願い申し上げます。

終りに、町民の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、私のご挨拶の言葉といたします。

壬生北部区
画整理事業

安全祈願祭行う

壬生北部土地区画整理組合（松本徳郎理事長）では、同区画整理事業の工事着工に際して12月3日、安全祈願祭を県道宇都宮・栃木線バイパス沿いの同地区内で行い、清水町長をはじめ、多数の来賓が出席しました。

同事業は、大師町の一部11・3ヘクタールを対象に、今後の宅地需要に対応する面的整備を実施し、公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図ることによって、良好な環境をもつ、まちづくりを目指しています。

計画道路は同地区中央を縦貫する都市計画道路を基幹として、道路幅6m～9mの区画道路をつくり、公園を2カ所設置することになっています。なお、整備期間は平成4年度までの計画です。

“壬生町史” 好評頒布中

お求めの方は町教委社会教育課まで



壬生町史全7巻が、9年余の歳月をかけて完成しました。町民の皆様を活用いただけるよう読みやすくわかりやすく、壬生の歴史が書かれています。

初めて町史を手にする方は、まず、全時代を通して専門の先生方が書いた通史編から読まれるように、お薦めします。

「壬生町史」全7巻

- ◇通史編
 - 通史編 I 5、000円
 - 通史編 II 5、000円
- ◇民俗編
 - 民俗編 3、000円
- ◇資料編
 - 原始古代・中世 5、000円
 - 近世 6、000円
 - 近現代 I 5、200円
 - 近現代 II 5、200円

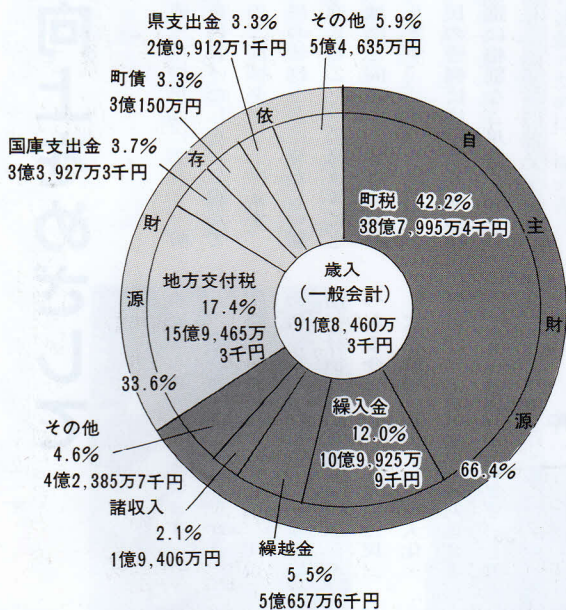
家計簿

決算状況

町民のみなさんに町の財政がどのようになっているかを知っていただくとともに、町政に対する理解を深めていただくため、町の財政状況の公表をしています。

今回は、平成元年度の決算状況についてお知らせします。

①歳入の状況



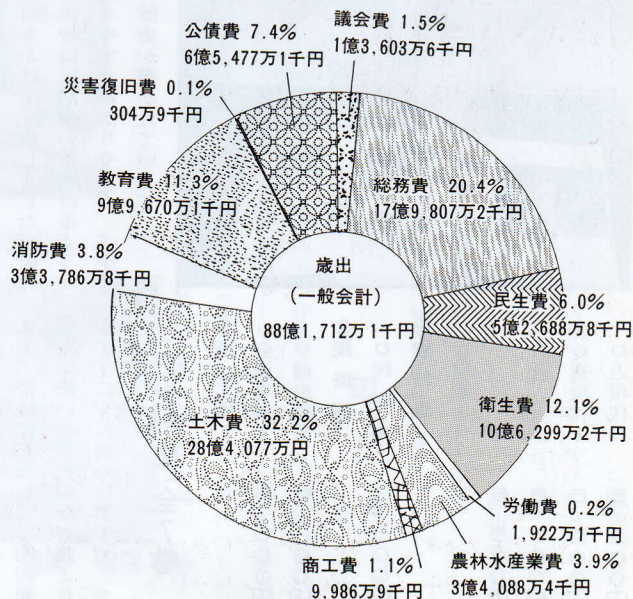
平成元年度一般会計の決算額は、歳入91億8、460万3千円で、予算額に対し1・6%の増収となり、前年度決算額に比べ23・8%の増となりました。また、歳出は決算額88億1、712万1千円で、予算額に対し9・76%の執行で前年度の決算額に比べ27・6%増となりました。

グラフ①は、歳入の決算割合を示したものです。町税などの自主財源が総収入の66・4%を占め、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が33・6%を占めています。

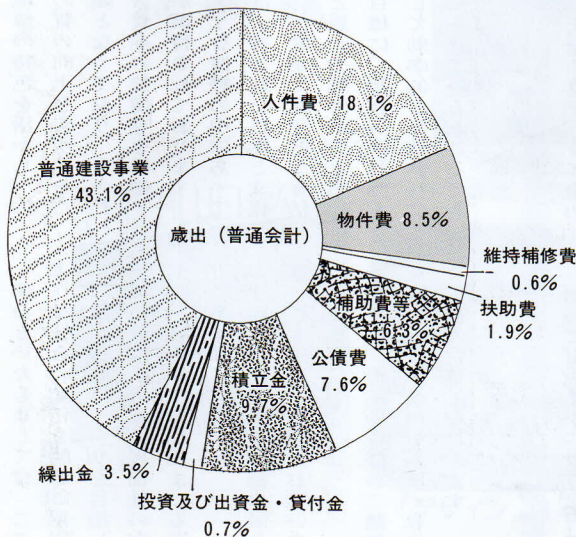
これらの財源がどのような目的でどのくらい使われているかは、歳出グラフ②のとおりです。

グラフ③は性質別歳出状況を示したものです。全体の43・1%を占める普通建設事業費は、し尿処理施設(クリーンセンター)建設事業費や運動公園用地取得費、また、安塚小学校プール建設など施設整備の費用です。

②歳出の状況

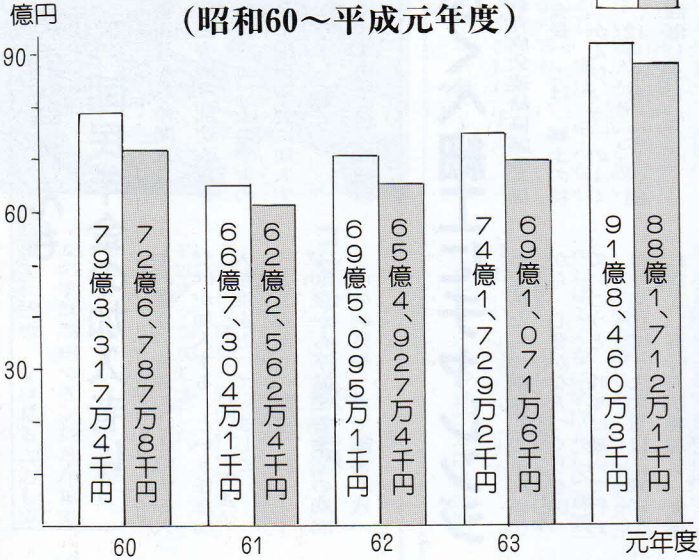


③性質別歳出状況



決算額の推移

(昭和60～平成元年度)

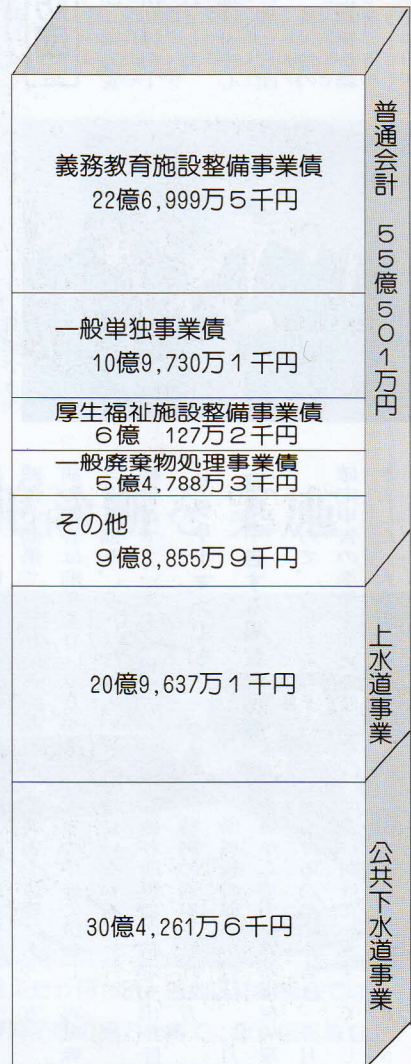


まちの

平成元年度

地方債現在高

(平成元年度末)



特別会計決算状況

(単位: 千円)

会 計	歳 入	歳 出	繰 越 金
国民健康保険	1,625,383	1,560,089	65,294 基金積立金 (20,000)
公共下水道事業	1,051,576	1,011,648	39,928
国谷土地区画整理事業	25,941	25,941	
奨学資金	1,577	1,430	147
老人保健事業	1,276,251	1,250,147	26,104
水道事業	総収益額	総支出額	純利益
	447,783	395,749	52,034
水道事業	総収入額	総支出額	※注 収支不足額
	53,975	154,809	100,834

※注 過年度及び当年度損益勘定留保資金及び建設改良積立金・当年度消費税収支調整額で補てんしました。

学生の皆さんも

国民年金の加入者に

平成3年4月から仲間入り！
国民年金法等の一部が改正され、4月から20歳以上の学生の皆さんも必ず国民年金に加入することになりました。

これまでの年金では、20歳以上

上の学生の皆さんは希望する人だけが加入する、という任意加入制度をとっていました。

ところがこの制度では——
①20歳から卒業するまでの期間中の病気やケガで障害が残つ

ても、障害基礎年金が受けられない。

②65歳から受ける老齢基礎年金が、満額にならない。

——などの問題点がありました。しかし、これらの問題も今回の改正で解決され、20歳以上の学生の皆さんは全員、第一号被保険者として国民年金に加入し保険料を納めることになりました。

ふくべ細工にチャレンジ

町子供会育成会連絡協議会(橋本木三郎会長)では、郷土の特産である「かんびょう」のふくべを使い、12月9日、ふくべ細工教室を開催しました。

この教室は、会員相互の親睦



自分の顔にも似ているよ

消防協会から表彰

壬生町消防団

12月26日、町消防団(梁島安男団長)が、栃木県消防協会下都賀支部より表彰されました。

これは、先の安塚地区を中心とするたつきまき災害に際し、団員の一致協力のもと、被災地の安定と復旧に尽力した功績が認められたものです。



と子供たちの創作能力を高めながら、心豊かな人づくりを図っていることと、昨年に行われたもので、この日は、親子づれなど二五〇人が参加し、会場

となった嘉陽が丘ふれあい広場の体育館では、床いっぱい広がって、ステージに並べられたお手本や写真を見ながら作業に取り組み、午後になるとグルマのお面など思い思いの力作ができました。

身近な税のいろいろ ②⑥

初めて400万円台に

402万4千円——民間のサラリーマンが、平成元年の一年間に手にした給与の平均額です。好景気を反映し前年より4・6%増で、初めて400万円台に乗りました。

一方、納税額のあるサラリーマンが納めた税金の、一人平均は25万1千円。こちらは所得税減税の効果で、給与に占める税額の割合は前年を0・08ポイント下回り、5・73%という結果がでています。

サラリーマンでも

確定申告する場合がある

ところで、今年もそろそろ、確定申告の準備を始める時期がきました。大多数のサラリーマンは、前年12月の年末調整で納

税を終了していますが、サラリーマンであっても、次のような方は確定申告をしなければなりません。

- ①給与の年収が1、500万円を超える方
- ②給与所得や退職所得以外の所得の合計が20万円を超える方など

所得税還付の申告は

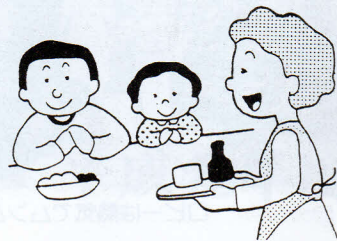
一月から

半面、サラリーマンでも確定申告の義務はないが、申告すると源泉徴収された所得税が返ってくるという人もいます。

それは次のような方です。

- ①マイホームをローンなどで取得した方
 - ②多額の医療費を支払った方
 - ③災害や盗難にあった方
 - ④年の中途で退職し、再就職していない方
 - ⑤給与所得者の特定支出控除の特例の適用を受ける方
- 所得税の確定申告は、二月十六日からですが、所得税の還付を受けるための申告は、一月から受け付けています。くわしくは栃木税務署(☎(22)0885)や税務相談室(☎(23)7435)へ

食事と健康 ②1



イカとタコとエビ

一般にイカやタコ、エビは、コレステロールが多いというので敬遠している方が多いと思います。しかし、実は、そんな心配は無用なのです。さかなの脂肪には、EPA(エイコサペンタエン酸)という脂

肪酸があり、これが悪玉コレステロールを減らす働きをしています。また、これと並んでさかなの血合い肉の部分や、イカやタコ、エビなどにはタウリンというアミノ酸が含まれていて、コレステロールを下げたり、中性脂肪を減らし血圧を正常に保つ作用をしています。さらに、

タウリンは、インスリンの分泌を促すので糖尿病の予防にも一役かっていますし、視力のおとろえを防ぐことでも知られています。

さかなをはじめ、イカやタコ、エビはこんなにすばらしい食物ですから、安心して食べられますね。ただし、その食べ方には注意

を要します。からだに良いEPAも古くなると酸化され、過酸化脂質となって、逆に動脈硬化を促進することになります。また、イカやエビも、いつもたんぷらやフライで食べると、衣にたっぷり油がついていますので、エネルギーも高くなり肥満にもつながります。

からだに良くておいしい、イカやタコ、エビも、新鮮なものを選び、ヘルシー(健康的)な調理を工夫し、全体的なバランスを考えて食べましょう。

☆食物の栄養について、「こんなことを知りたい!」ということがある方は、役場福祉課の栄養士までご連絡ください。

体験してもらいました。

コマ作りには親子で参加する子もいて、にぎやかな教室となりました。子供たちは、渡された白木のコマに思い思いの絵を描き、世界に一つしかない自分の作品に大喜びでした。

その後、出来上がったコマでお正月にむけてコマまわしの練習をし、慣れない手つきで四苦八苦していました。

リクエスト募集

図書館では、皆さんからの「リクエスト大募集」します。「図書館にぜひ置いてほしい」「多くの人に読んでほしい」というような雑誌がありましたらぜひ、リクエストをお寄せください(現在購入している『日経マネー』『コペル21』『装苑』

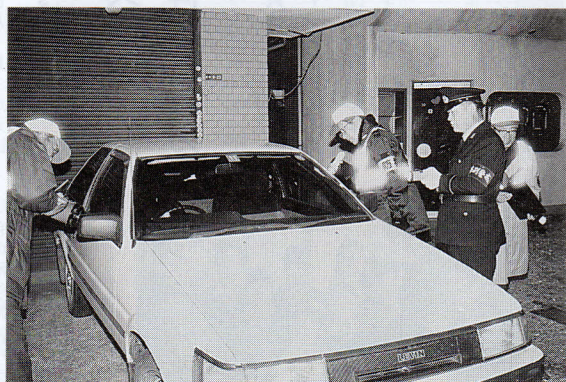


などは、リクエストいただいた中から選んだものです。リクエスト用紙があります。直接図書館においでください。よろしく願います。

BMゆうがお・みぶの巡回予定

- 2月6日(水) 稲葉小学校
 - 2月7日(木) 藤井小学校
 - 2月8日(金) 壬生東小学校
 - 2月13日(水) 安塚小学校
 - 2月14日(木) 壬生北小学校
 - 2月15日(金) 羽生田小学校
 - 2月20日(水) おもちゃの町(幸町一丁目なかた洋品店裏)
- ※駐車時間は、いずれの所もご2時から4時までです。

防犯診断を実施



年末を間近に控えた12月15日、各地区防犯組合では、栃木警察署及び消防団の協力を得て、車や自転車などのカギの掛け忘れがないか防犯診断を行いました。



コマづくり教室開く

資料館では12月16日、コマ作り教室を開催、町内の小学生ら約20人が参加しました。

今回は「お正月のあそび」と題して、男の子はコマまわし、女の子は羽根つき(12月23日実施)に挑戦。今は見ることも少なくなつた懐かしい昔のあそびを

町民のひろば

「町民のひろば」はみんなで作るページです。身近なニュースやできごとを紹介しますので、掲載を希望される方はお気軽に町民室（☎二三四内線二一五）まで「一報ください」。

もちつきで慰問

町青年団

12月23日、特別養護老人ホーム「しもつけ荘」で、町青年団（坂本正和団長）主催のもちつき大会が行われ、お年寄たちを

喜ばせました。

これは、社会福祉活動への参加企画として、本年から新たに取組んだもので、この日は、

壬生中や壬生高のJRCの生徒も応援に駆け付け、ロビーに用意された臼を囲み、ヨイショ、ヨイショのかけ声の中、お年寄たちは久しぶりの光景に感激しながら、楽しい一日を過ごしました。



ロビーは熱気でムンムン

12月26日、六美町にある町児童館で冬休みお楽しみ会が開催され、町内各地から参加した一五〇名の親子づれが、もちつきやゲームを楽しみながら交流を深めました。
この日は、同館母親クラブや老人クラブの応援を得て、つきあがったもちは、手ぎわよくアンコやきな粉にくるみ、つきたての味を満喫しました。

町児童館

子供たちがもちつき体験



おいしいちゃんガンバッテ!

東雲児童公園を清掃

三好町老人クラブ



ある東雲児童公園の清掃奉仕に汗を流しました。

作業は朝八時三十分から始められ、くまでやほうきで手際良く、見る見るうちに落葉や枯れ枝の山がつくられて、二時間後には元のきれいな公園になりました。

三好町老人クラブ（戸崎義雄会長）では、12月7日、地元

同クラブでは、毎年春と秋に、空カン拾いや除草などの清掃奉仕を精力的に行っており、会員相互のふれあいを深めるとともに、明るく住みよい地域づくりにも貢献されています。

町ガールスカウト

歳末たすけあいに協力

ガールスカウト栃木18団（壬生、森きの委員長、団員36名）では、歳末たすけあい募金に協力しようと、団員たちがおこづかいの中から持ち寄って集めたお金6万円を、12月26日、町長室を訪れ「恵まれない人に役立ててください」と清水町長に手渡されました。

おこづかいを持ち寄り募金



町長室を訪れた団員たち

納税ポスター標語

入選者表彰

第二回納税の推進に関するポスター標語の表彰式が12月5日、壬生中央公民館で行われ、最優秀賞には小学校の部（6年生）で安塚小学校の伊沢隆裕君が、中学校の部（2年生）で南大飼中の鈴木正浩君がそれぞれ受賞されました。また、優秀賞には壬生小学校の山野井諭子さんほか39名の方々が受賞されました。これは、次代を担う児童・生徒

（小学6年生・中学2年生）を対象に、税に接し税について考えることによって、税の正しい理解を通して共同体の一員としての自覚を持つとともに、家庭の中で税について話し合い、家族みんなで納税の理解を深めてもらおうと実施され、町内小学校から総数1、017点の応募がありました。

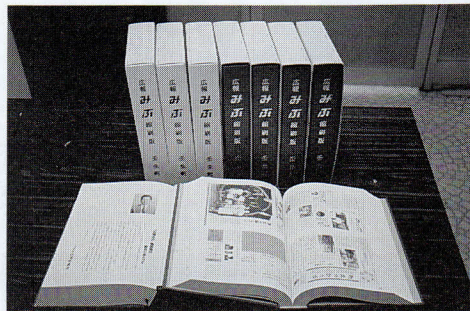
「広報みぶ縮刷版」を発売 申し込み受付中

1冊3、000円

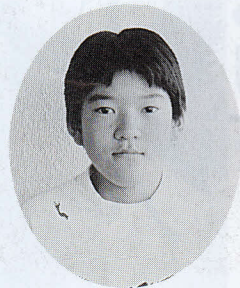
広報みぶ縮刷版（昭和53年1月号～平成元年12月号を収録）を発売する運びとなりました。

購入申し込みについては、現在自治会内回覧により取りまとめをさせていただいておりますが、直接、役場企画財政課（町民室）へ申し込みまれても結構です。発行部数に限りがありますので、お早めに申し込みされるようお願いいたします。

◇頒布価格 1冊3、000円
◇申込み先 企画財政課（町民室）



■小学校の部（6年生） 最優秀賞



「税金はぼくらの未来育てる」

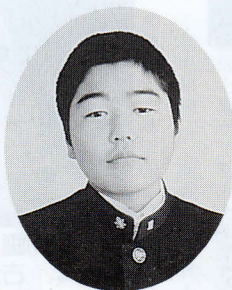
安塚小 伊沢 隆裕

優秀賞（氏名のみ）

- 田 山野井諭子 (ワ) 葭葉 幸恵
- (ワ) 林 典之 (ワ) 荒川 仁美
- (ワ) 早乙女貴子 (ワ) 野口 純子
- (願) 米沢 尚也 (東) 田中 満

- (ワ) 井上 泰伯 (ワ) 高山 好成
- (願) 須藤 玲子 (ワ) 前田 昌輝
- (ワ) 高原麻衣子 (ワ) 相馬 梨華
- (ワ) 渡辺 匡紀 (編) 大場 清美
- (羽) 篠原由美子 (北) 糸川 史恵
- (安) 高橋 秀貴 (ワ) 川野辺春生

■中学校の部（2年生） 最優秀賞



「納税は明るい社会の道しるべ」

南大飼中 鈴木 正浩

優秀賞（氏名のみ）

- 〈壬生中〉 篠原由佳里
- 松本 陽子 小林 歩
- 塚本 清美 里見 友子
- 田代 由香 渡辺 真規
- 古澤亜紀子 五月女 幸
- 〈南大飼中〉 中田 紀子
- 庭山実紀子 斉藤 朋子
- 佐久間友美 熊倉 孝典
- 飯塚千恵子 糸川 淑江
- 高木 陽子 和氣 幸恵
- 佐藤 美和 吉田詠美子

健全育成標語の表彰



後列、左から三代良一郎さん、早乙女淳子さん、石塚澄子さん

青少年健全育成標語の表彰式が12月21日、役場正庁で行われ、壬生中2年の早乙女淳子さんの「気を付けよう 心のすき間に悪の手が」が最優秀に輝きました。また、優秀2名、佳作8名もそれぞれ表彰されました。

表彰（敬称略）

最優秀

早乙女淳子

「気を付けよう」

優秀 壬中2年 石塚 澄子

「気をつけよう」

佳作 壬中2年 山本 昌男

「甘い言葉に ふり向くな」

小林 文子

関口 龍

赤木 里美

南大中2年 小平 美紀

梅津 裕司

白石 有紀

中田 紀子

お達者 カップル



◎ 井上 栄さん(82)
トキワさん(81)



開拓団で入植

井上栄さんと妻のトキワさんは、戦後、国谷飛行場の開拓団として入植されました。「初めのころは、何を作ってもできなかった」と言います。そこで、「豚を飼ってその堆肥を畑に入れるようにしたら、さつまいもが良くできるようになった」と入植当時の苦労話してくれました。栄さんは、北支戦争に出兵しその戦功により功六級の金鷄勲章を受けられ、現在、壬生金鷄会長及び県の理事役員をしておられます。

昔から植木の手入れが趣味で広い前庭にはたくさんのお木々が

植えられていて、毎日草むしりや手入れをしていたそうですが、今は年をとったので暖かくなつてから運動のために、家の周り1kmぐらいをゆっくりつえをつけて散歩するのが日課です。

トキワさんは、戦中・戦後の大変な時代によく家を守り、6人のお子さんを育てられました。5年前に血圧で入院しましたがそれから年とともに元気になつてきているといいます。今でも家事をするほか、隣に分家されている娘さん夫婦と息子さん夫婦が共働きなので、夕方の戸締りや外灯をつけに行くのが日課だそうです。

文芸



短歌

十日夜のあんころ餅がとどきたり
農には農の祭りがありて
買物の嫌ひな夫が冬帽子を
求め来たりて鏡に向ふ

正田良次郎

文化協会
文芸部選

石楠花の返り花咲く暖かき
冬の仕度もついおくれがち

出川小千代

俳句

主のなきブランコゆれて秋の暮
不出来なる饅頭つくり鎮守祭
諸入れて子らかしましき焚火かな
穂やかに夕べとなりぬ石路の花

渡辺 寅八
青木 淡丈
奥村 トシ
糸川 綾子

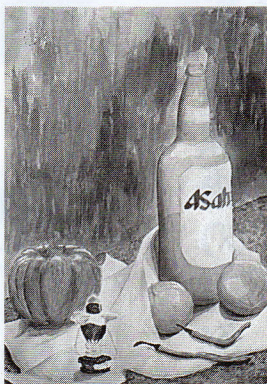
篠原 マサ

私の作品

— 壬生中学校 —



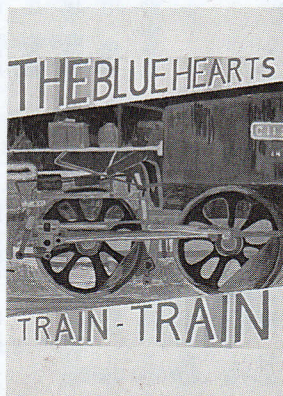
「デザイン」
2年 和貝 真希



「静物画」
2年 古澤亜紀子



「デザイン」1年 松本 聖可



「レコードジャケット」3年 篠原 暁美

「ぼくの宝物」

南大飼中学校一年

寺内

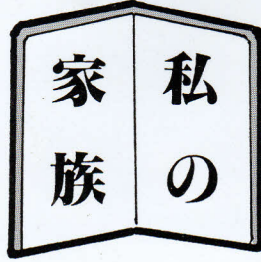
強

「ただいま。」

僕は帰宅すると必ず大きな声で言う。すると、

「おかえり。」

いつも母のやさしい声が返ってくる。悲しい時やへとへとに疲れた時も、やさしく元気づけてくれる母。



「わたしの家族」

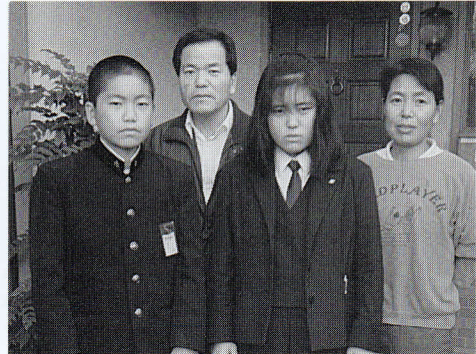
南大飼中学校一年

三井 雅世

私の家族は両親と祖父母、小学五年生の妹が一人います。祖父はいつも埼玉にいますが時々家へ来ます。祖母といっしょに旅行へ行った時にはたくさんのお土産を買ってきてくれます。妹は将来農業学校に行つて花屋さんになるそうです。今、祖

「何やってるんだ、全く！」
父はよく怒る。でも、温みのあるあの大きな背中、尊敬する父

だ。小さい頃からめんどうを見てくれて、勉強も教えてくれるやさしい姉。

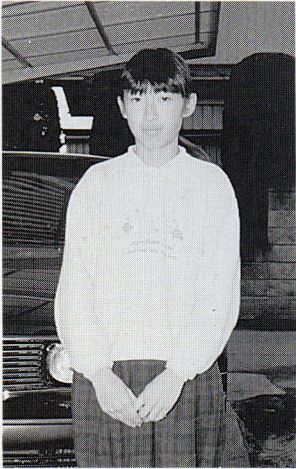


ぼくの家族です

ぼくは、家族について考えたことがなかった。ふだんはぜんぜん気付かなかったが、困っている時や苦しい時いつも慰めてくれるのも、助けてくれるのも父と母と姉だ。ぼくを支えてくれる。家族。ぼくにとってかけがいのないものだ。いつまでも大切にしたい。

母からいろいろな花の名前を教えてもらっているの、私の知らない花まで知っています。祖母は花が好きでいつも植木の手入れをしています。

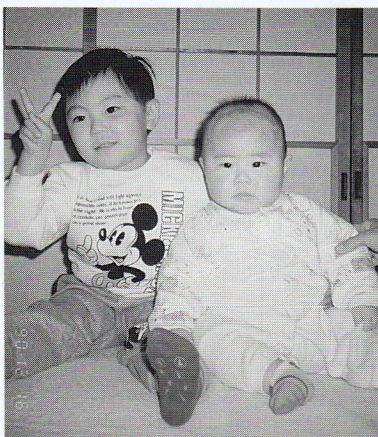
しかいっしょに食事ができません。でも毎年夏休みには家族で旅行に行ったり、たまに二、三ヶ月に一回くらい外食をしたりします。母もパートで働いていますし私もふつうの中学生です。私の家族はごくふつうの家族です。



自宅の庭で

チビっ子アルバム

ともひろ 智啓ちゃん(3歳長男、左)
みずき 瑞紀ちゃん(5か月長女、右)



(父) 田中 重夫さん
(母) " 董さん (国谷一)

お母さんから一言

兎と馬一干支に困んで二人とも跳んだりはねたり、元気に育つてね

ゆう 由有ちゃん(2歳次女、左)
いくみ 郁美ちゃん(1歳3女、右)



(父) 前原 進さん
(母) " 友子さん (下台団地)

ゆうちゃんといくちゃん。いつまでもやさしい、明るい女の子でいて下さい。

カチカチ火の用心

上通町自治会青壮年部が夜警



30年ぶりに復活した夜警をする青壮年部員たち

上通町自治会青壮年部（塚本一美部長、38名）では、年末・年始の防犯及び防火強化のために「自分の地域は自分の手で守ろう」をモットーに自警団を組織し、12月15日から正月休みを挟んで1月末まで、毎晩、夜警を続けています。

夜警を始めようと話し合ったのは12月の定例会。「何事もない上通町だが、火災や事件が起こってからは遅い」、「未然に防ぐ事が大切だ」との思いから島根定代自治会長や警察の協力を受けて、年末を控えた15日から早速、実行に移された。

夜警は5人1組で、7班の交替制。防犯腕章や拍子木、メガホン、懐中電灯など、夜警七つ道具を身につけ、9時30分に公民館を出発し、約1時間の巡回。「戸締り用心、火の用心」、「火の元、充分確認しよう」の掛け声に合わせ「カチ、カチ」と拍子木も板についたもの。町内の評判も良く、「大変ですね。ごくろう様です。」や「寝ていても心強い。」と反響も大きいので、部員たちは、「雨や雪が降ろうがやめられないし、来年も続けよう」とはりきっています。

交通事故防止 家族で話し合おう



「交通事故のない明るい社会をつくろう」——これは多くの人の願いです。

交通事故を防ぐには、子供からお年寄りまで家族みんなが、交通安全について正しい認識をもち、正しい交通ルールとマナーを実践することが大切です。

ご寄付

ありがとうございます
ごぞいまして

- 社会福祉協議会寄付者 金4万3,000円 壬生郷友会様
- 金2万9,080円 六美白百合婦人会様
- 金1,492円 稲葉地区公民館高齢者学級様
- 金29万2,000円
- 金20万円 おもちゃ団地協同組合様
- 金1,533円 坂野 勝治様
- 金29万9,000円 おもちゃ団地協同組合様
- 金1,388円 山野井 實様
- 金5,000円 小谷野代志子様
- 金5万円 おもちゃのまち 染谷 イセ様
- 金2万円 キリスト協会様
- 金20万円 匿 名様

2月の納税等

- 固定資産税 (4期)
- 都市計画税 (4期)
- 国民年金 (11期)
- (納期限2月28日)
- 早めに納付しましょう

まちのうごき 1月1日現在

総人口	39,616人	(+3)
男	19,564人	(+6)
女	20,052人	(△3)
世帯数	11,570世帯	(△4)
	()	内は前月比